



オービックシーガルズ通信

7年ぶり9回目の社会人日本一達成 ライズボウル進出決定

習志野市茜浜を拠点に活動する社会人アメリカンフットボールのクラブチーム「オービックシーガルズ」は、ライズボウル（日本選手権）で7度の日本一を果たし、さらなる高みを目指しています。また地域の学校訪問などのホームタウン活動にも力を入れています。

新型コロナウイルスの影響を受けて期間短縮・2ブロック制（通常は参加8チーム総当たり制）で開幕した秋季リーグ戦（XリーグXISuper）。オービックシーガルズのBブロックでは、対戦相手のリーグ戦出場辞退により、3チームでの戦いとなりました。オービックシーガルズの初戦は第2節11/8（日）東京ガスクリエイターズ戦。今季チームに移籍加入したQB#11ジミー選手が前半だけで4つのタッチダウンパスを通し、ディフェンスでもDL#50板敷選手、DL#94菊池選手、LB#47高橋選手など新人選手が躍動し、60-0の完封勝利を収めました。続く第3節は11/21（土）、パナソニックインパルス

との戦いでした。前半を11点のリードで折り返し、第3Qに逆転されるも、第4Q終盤でQB#11ジミー選手からWR#9前田選手へのロングパスが通り1点差の逆転。最後はパナソニックの猛攻にあい万事休すか、という展開の中、DL#33仲里選手、LB#44成瀬選手の手好プレーで1点を守り切り、勝利を手にしました。その結果、Bブロックの1位となり、4年ぶり7回目のジャパンエックスボウル（JXB）進出が決定しました。

IQ序盤は富士通に攻め込まれますが、DB#21ブロンソン選手がボールを奪い富士通の攻撃の流れを止めると、その後はオービックシーガルズの攻撃が機能し、RB#29李卓選手が2本のタッチダウンを決めて先制。第2Qでは富士通に1タッチダウンを返され、前半を13-7で折り返します。後半は両者の攻防が続き膠着状態で第4Qを迎えると、富士通がオービック陣に少しずつ距離を進め、ゴトル前残り6ヤードのところまで攻め込んで試合時間残り2秒。富士通のQBが得点圏にいた選手にボールを投げ込みましたが、DB#4久保選手がそれをカットして試合終了。最後のプレーまで逆転されるような可能

性もあった、手に汗握る攻防を見事制し、13-7で勝利しました。これでオービックシーガルズは7年ぶりに社会人王座を奪還し、最多優勝記録を9回に更新しました。

てくださいました。皆さんの応援が私たちの力になり、社会人日本一を達成することができました。本当にありがとうございました。これでいよいよ次は真の日本一を決める「ライズボウル」です。学生代表の関西学院大学と1/3（日）15時から東京ドームで対戦します。「習志野から日本一」にどうぞご期待ください。

X1 Super 試合結果

第2節 vs 東京ガスクリエイターズ **60-0**

第3節 vs パナソニックインパルス **35-34**

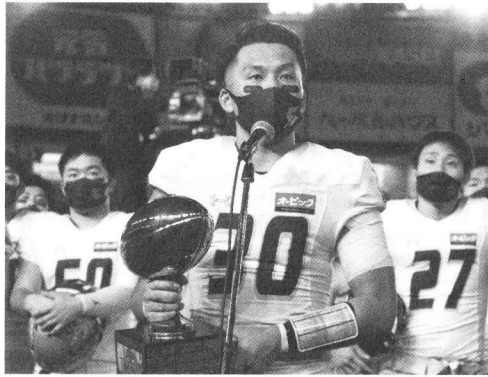
JXB vs 富士通フロンティアーズ **13-7**

次戦

ライズボウル

2021年**1月3日**（日）15:00~

vs 関西学院大学 ※NHK BS1 で生中継



▲優勝トロフィーを手にスタンドのファンに挨拶をするRB#30地村主将

■ JXB 試合直後のRB#30地村主将コメント

お待たせしました、という気持ちでいっぱいです。今年はず特殊なシーズンで、選手もスタッフも、なかなか思い通りにいかないということが続きました。そのような中でも、皆さんの声援と、自分たちの「最後までやり切る」こと、それが合わさってこの結果に繋がったと思っています。これからのオービックシーガルズ、もつともつと強くなります。そして、ぜひ皆さんの声援で強くさせていただきます。今日はありがとうございました。

チケット情報・学校訪問・イベント

出演などのご相談は、

gullsinfo@seagulls.jp

オービックシーガルズ公式HP

<http://www.seagulls.jp>

